

みんなカビ和

2006.6.1

No.4



2002.4.29.

元々カビ和

詳報! 第52回333-C地区年次大会
厳粛かつ華やかに流山市で開催

The Lions' Hymn

ライオンズ・ヒム

Words by Joseph M. Tewinkel

訳詩・葛野作太郎

Music by Francis H. Baxter



Sing li - ons, raise a song At the shrine of lib - er - ty. ———
う た え ラ イオンズ 自 由 の う た を ———



Sprung from the no - ble heart - beat of de - moc - ra - cy, ———
む ね に も ゆ る 火 デ モ ク ラ シ ———



E - ter - nal vig - i - lance will keep a - live the flame ———
と わ に け さ じ と ま も る な れ ———



Lib - er - ty, In - tell - i - gence, Our Na - tion's Safe - ty. ———
リ バ ティ インテリ ジェンス アワ ネイションズ セイフ ティー

ライオンズ ヒム

一、歌えライオンズ 自由の歌を

胸に燃ゆる火 デモクラシー

永久に 消さじと 守るなれ

リバティ インテリジェンス

アワ ネイションズ セイフティ

二、知性に生きる ライオンズ

社会奉仕と 友愛に

手をさしのべよ 常に強く

リバティ インテリジェンス

アワ ネイションズ セイフティ

三、戦の魔手より 国を守る

強き同志の 城築け

命と名誉と 富かけて

リバティ インテリジェンス

アワ ネイションズ セイフティ



CONTENTS

- 4 詳報！第52回333-C地区年次大会
厳粛かつ華やかに流山市で開催



- 7 ガバナーエレクトにL霜 礼次郎を選出
8 国際理事候補者にL後藤 隆一の推薦が決まる
9 速報！栃木県鬼怒川で複合地区年次大会開催
10 特別企画〔元地区ガバナーリレー放談〕④
L長島 彪「継続は力なり」
11 ACTIVITY・NEWS・FLASH
17 みながわ俳壇
18 編集後記



表紙画／高木 次雄（野田LC）

柏市の廣池学園・麗澤大学キャンパス。緑豊かな
広大な森に包まれ春夏秋冬それぞれに趣きが異なる。

厳粛かつ華やかに地区年次大会開催 千七百名の同志が流山市会場に参集



皆川春安地区ガバナーの掉尾を飾る第五十二回地区年次大会が、新緑の四月二十三日に流山市文化会館で開催された。

流山市は県の北西部に位置し、房総の南部や銚子などの東部地区から見れば最果ての感があるものの、比較的アクセスに恵まれていると言えよう。

九時二十分から代議員総会が開催されたが、会場人口で地区ガバナー提出議案のうち次期地区ガバナー選出、副地区ガバナー選出、国際理事候補者推薦の三件について信任投票が行われた。

この結果は議事の中で報告されたが、いずれも賛成票が290票を超えて圧倒的多数で原案通り承認可決された。

代議員総会は一時的に中断して、分科会、フォーラム、オリエンテーションのため、それぞれの会場に移動。A～H分科会では予め設定されたテ

特集／地区年次大会



テーマに沿って熱心な討議が重ねられた。
この分科会終了後、代議員総会が

再開され、分科会の討議結果が報告されて閉会となった。

十二時四十分、年次大会の開会が宣言され、皆川春安大会議長が開会ゴングを鳴らした。

千人定員の会場は満席で、入場出来なかった約七百人の同志は近くの市民体育館の大型スクリーンを通しての年次大会となった。

大会議長の皆川ガバナーは挨拶で「長そうで短いのは人の噂とガバナーの任期」と、得意のジョークを連発し会場の笑いを誘いつつ一年間を総括したが、スローガンの「みんなが和」は平和の和でもあると説き、「汲んでも尽きない奉仕の泉の鍵を



永遠に引き継いでほしい、格調高く締めくくった。

来賓の堂本暁子・千葉県知事、井崎義治・流山市長、倉田寛之・前参議院議長は、いずれもライオンズに籍を置いているが、ガバナーのジョークに触発されてか祝辞もユーモアたっぷり、会場を沸かせた。

全般を通して今年の年次大会は終始、厳粛な中にも和やかな雰囲気満ちていたが、これは皆川ガバナーの人柄によるところが大きいと言えよう。

会場のコーナーに歴代ガバナーの写真と三役名、バナーが展示されていたが、新倉隆キャビネット幹事、



高木次雄会計、伊藤實大会委員長を始めとするスタッフの入念な準備と気配りも忘れてはならない。



親しく歓談の前夜祭は「みんなが和」



年次大会に先立ち四月二十二日、ナブシヤルズ日本閣南柏で前夜祭が催された。

かつて前夜祭は地区内全クラブに案内状が発送され、半ば出席が義務付けられ、華美に過ぎ負担が多いとの指摘もあって、ここ暫くは主として宿泊者を対象に小宴が設けられていた。

大会実行委員会では、この点を十分に考慮し、いわゆるひとつのお祭りの一環として参会者が親しく歓談の時間を過ごす機会と位置付けた。

二百名を超えた参会者を前に挨拶に立った皆川春安ガバナ―は喜びの表情を体一杯に湛え、感謝と翌日の年次大会成功への決意を力強く語った。

地元在住の若手ミュージシャンのライブをBGMに、広い会場のテーブルを縫うように参会者が交流し、歓談の花が開いた。

予定の時間はアツという間に過ぎて、参会者全員がひとつの「わ」になつて「また会う日まで」を斉唱、盛会の内に閉会した。



特集／地区年次大会

ガバナーエレクトにシ霜礼次郎 選出

地区年次大会に提出された第一号議案・次期地区ガバナーの選出は、代議員総会において承認可決され副地区ガバナーのシ霜礼次郎が原案通り選出された。

司会者のアナウンスで式典会場に正装で入場した霜礼次郎ガバナーエレクト夫妻は、会場の拍手に手を振って応え、壇上で迎えた皆川ガバナーと堅い握手を交わした。

世界射撃連合医事委員、日本ライフル射撃協会理事、千葉県ライフル射撃協会々長、千葉市体育協会副会



長を務める霜ガバナーエレクトは、いわゆる体育会系。C地区二十五年の歴史で初めてとなる。

背筋をピンと伸ばしての挨拶は簡潔にして力強く、文武を兼ね備えた体育会系優等生をうかがわせる。

霜ガバナーエレクトは当初は整形外科医の傍ら剣道に励んでいたが、三十五歳の時にアキレス腱を切る怪我をして竹刀を銃に持ち替えた。

モスクワ・オリンピックでは候補選手となったが、日本の参加ボーイコットで白紙に。その後はロサンゼ



ス、ソウル・オリンピックでは射撃のチーム・ドクターを、バロセロナ大会では監督を務めた。

一方、スウェーデンに留学していた一九六九年に火縄銃と出逢い、その魅力の虜となっている。以来、集めた火縄銃は七十丁を超え、一部は千葉市の郷土博物館に展示されている。

ヨーロッパの銃は磨き上げられているが、日本の火縄銃は黒い銃身が渋い光を帯びて、言いようのない存在感があると言う。



一九七七年、チューリヒで開催された火縄銃の競技大会である「世界前装銃射撃大会」に日本人として初めて参加し、六位に入賞している。只者ではない。

来るボストン国際大会で地区ガバナーに就任し、国際会長の指示を受け、いよいよ地区運営にあたるが、照準をあわせ狙った的は百発百中の成果を上げることには間違いは無さそうである。

「霜ガバナー」の新たな視角に注目が集まる。



国際理事候補者にし後藤隆一を推薦

地区年次大会に提出された第三号議案「国際理事候補者推薦」は、代議員総会において柏中央LC所属の後藤隆一元地区ガバナーを原案通り承認し推薦した。

また五月十四日に鬼怒川で開催された333複合地区年次大会に規則に従いC地区ガバナー署名の推薦書が提出され、国際理事候補者推薦手続委員会を経て代議員総会で推薦が決議された。

これで国内での手続きは終了し、来る十一月にマレーシアのペナンで

開催される東洋東南アジアフォーラムで最終推薦され、明年のシカゴ国際大会の代議員投票で選出という運びになる。

国際理事の定数は三十三人だが、その選出は世界を七つの地域に分けて、それぞれに定数が決められている。日本が属する東洋東南アジア・フィリピン諸島およびブルネイは五名となっている。

東洋東南アジア地域からの国際理事選出国はローテーションが組まれているが、昨年の仙台フォーラムで

二〇〇八年〜二〇一六年に選出される国際理事二十三名のうち二十二名の選出国が申し合わされている。

国際理事候補者の資格として第一に挙げられているのは「グット・スタンディングのクラブのグッド・スタンディングの正会員」とある。

後藤隆一候補者は正にその資格を有しているが「年次大会において、正式に国際理事候補者として推薦の決議をして頂いたことに感謝すると同時に、責任の大きさを改めて実感しています。」

個人的には出来れば避けて通りた
いと感じていたことは事実ですが、
ライオンズ入会以来二十七年、多くの
先達ライオンに育てて頂いた者として、
先輩及び同志各位の期待に応える義務も当然に認識しております。

手続きが開始した以上は微力では
ありますが、出来る限りの努力をさせて
頂く所存でありますので、皆様のご
協力ご協力を切にお願い申し上げます。
「ご助力次第です」と感謝と決意を語っ
ている。



東洋東南アジアフォーラムが開催されるペナン島

速報／複合地区年次大会



速報！鬼怒川で複合地区年次大会開催

新緑がすがすがしい五月十四日、栃木県鬼怒川温泉で333複合地区年次大会が新装なった「あさや」で開催された。

333複合地区の更なる飛躍を願って「新生・飛躍」をテーマに開かれた大会にはC地区からは百二十八クラブ三百九十九名が登録、総勢一千四百十六名が参加した。

代議員総会では高田一男大会議長提出の各議案が審議されたが、第8号議案の「2007～2009年度国際理事候補としてC地区柏中央L

C所属のL後藤隆一を擁立する」件が承認・可決された。

式典では各準地区のガバナーエレクトが華々しく入場し、C地区の霜礼次郎ガバナーエレクトは、壇上で抱負と決意を力強く表明した。

この大会に先立ち同所で前夜祭が行われ、千葉LCを始め三十四クラブから多数の同志が出席。総勢六百名を超える参会者で会場は満員。

来賓の日光市長の祝辞のあと乾杯し、歓談となった。ステージでは津軽三味線などが演じられた。



元 地区ガバナー リレー放談

長島 彪

(1990～1991年在職)



「継続は力なり」

就任時はC地区発足以来、最も若手の五十五歳でしたので、関幹事、斉藤会計を始め、内局員、佐原クラブ、地区メンバーの絶大なるご協力をいただき、また家内の応援を受けガバナー職を務めることができました。感謝しております。

「佐原キャビネット」の誕生は、クラブ結成二十五周年記念を無事終えて、これからは内部の充実と併せて地区発展のために力を注ごうとい

う機運が若手を中心に盛り上がり、当時、資格のありました私が務めることになりました。

当時は副地区ガバナー制度はなくガバナー職の知識もなかったのですが、幸い二年間連続でキャビネットの役職の経験がありましたので、前任者の運営方針を踏襲して運営指針を「継続は力なり」としました。内局員は四十代、五十代で編成し、若さを全面に発揮して職務を遂行しま

した。

印象深いのは初の国際大会参加でした。この年は米国ミズリー州セントルイス市で開催され、大会前のエレクト・セミナーを経て国際大会でガバナーに就任いたしました。

大会最終日に日本の三十一地区のガバナーの懇談会がありました。自己紹介で私は「日本では最年少ガバナーです。ゴルフの成績ならメーカーです。一年間、メーカー長島で頑張ります」と申しました。

同期の皆様とはその後も親睦を深めておりますが、現在、在籍している方は十八名、退会された方二名、物故となられた方は十一名です。

在職中、ルテナントガバナー制度が、今は亡き小泉元地区ガバナーを始め関係者のご努力で他地区に先駆けて発足しました。数年後この制度は国際本部で採択され、現在の副地区ガバナー制度の確立に繋がっています。

また千葉県ヘルス財団が設立されました。これは数年前から準備されていた

のですが、メンバー全員の資金協力を得て設立に至ったのは誠に感慨深いものがあります。

この年はC地区が単県独立して十周年にあたりましたので、「地区ニユース」2号に「333 C地区誕生特集」を大きく掲載し「C地区誕生特別号」といたしました。

この単県独立十周年記念式典を年次大会の前夜祭と兼ねて、多くの関係者をご招待して挙行了しました。私のライオンズライフの中で最も栄光に感じた年でありました。



セントルイス国際大会の帰路に訪問した国際本部で夫人と。



次期副地区ガバナーの選出に「小西宗仁(船橋LC所属)を承認

巻頭の年次大会特集でも触れているが、ガバナー提出議案の第二号議案Ⅱ次期副地区ガバナー選出の件について承認可決され、次期は小西宗仁副地区ガバナーが誕生する。

小西宗仁は一九九五年に4R1Zのゾーンチェアマンを務めた後、二〇〇〇年に木下務地区ガバナーの下でキャビネット幹事として地区運営の事務をつかさどり、その手腕を

遺憾なく発揮されたのは記憶に新しい。

建築設計・監理の総合コンサルタントの傍ら民間の総合経済団体である船橋商工会議所副会頭として地域商工業のバランスのとれた発展に力を注いでいる。

ライオンズにも並々ならぬ情熱をもつて社会奉仕に精進しているが、近年のライオンズの実態に憂慮し将

来に危機感を抱いており、その思想と意識を背景にした指導力が注目される。

まずは来期、霜札次郎地区ガバナーの監督と指示のもとに地区ガバナーの首席補佐役を務め、与えられた職責を全うすることに全力投球し、これをステップとして飛躍していくことになる。柔軟な発想と勇氣ある実践が期待される。

節分の宵に船橋LCが心に沁みる「熊澤南水ひとり語り」を催す

青少年健全育成と視力ファーストキャンペーンⅡを掲げたチャリティ「南水ひとり語り」を二月三日の宵に船橋さららホールで開催した。

この「ひとり語り」は、語り手の熊澤南水さんが、日本文学作品を僅かな身振り手振りで表現し、登場人物を蘇らせ聞く人をその作品の世界へ誘うもの。

当日は最小限の舞台装置を背景に

紅白の椿の花が舞う中、落ち着いた和服姿で語りは始められた。

一部は江戸・向島の料理屋の一人娘を描いた平岩弓枝の人情味あふれる「ちっちゃなかみさん」

二部は武家の妻として誇り高く生きた一人の女性の生き様を描いた山本周五郎の「二粒鮎」

ひとつの空席も無い会場は凛とした空気が張りつめ、澄み切った語り

手の声が流れ、ひとり一人の聴衆の心に静かに沁みていった二時間であった。

会の終了後、参加者の口から「子供たちに聞かせたい」との言葉が一様に聞かれたが、今後、そうした企画も検討される。

この日の浄財の一部は市立青少年キャンプ場の用具購入費等に充てられる。



新たな同志が「行徳ベイライオンズクラブ」を旗揚げして結成会

今期初のエクステンションである「行徳ベイライオンズクラブ」の結成会が、去る二月二十五日にフロラ西船で挙行された。

これは行徳リバーサイドＬＣが結成五周年記念事業の一環として取り組んだもので、当日は皆川地区ガバナリーをはじめ林護前地区ガバナリー、霜副地区ガバナリー、内田地区名誉顧問、松丸元地区ガバナリー、笹本元地

区ガバナリー、新倉キャビネット幹事ら錚々たる地区役員二十六名が列席した。

また市川ＬＣ、市川東ＬＣ、下総中山ＬＣ、市川北ＬＣ、浦安ＬＣ、行徳ＬＣ、浦安シーサイドＬＣ、浦安中央ＬＣのブラザークラブから会長、幹事を中心に二十五名が出席し華やかに結成会が執り行われた。今回の結成はキャビネットの関係

委員会の熱心な指導によるところが大きい。これを受けた谷島重夫ＥＸＴ委員長（行徳リバーサイド）の情熱と積極的姿勢が結実に至ったと言える。

行徳リバーサイドのクラブメンバーが一致団結し、昨期の支部結成から一年間で新クラブ結成準備委員会の設置を経て結成に漕ぎ付けたことは高く評価される。



木更津中央ＬＣが優秀な市内の児童生徒育成に教育奨励賞授与

青少年健全育成の取り組みに熱心な木更津中央ＬＣでは、一九七一年から毎年、教育向上に顕著な功績をあげた児童・生徒・教職員を対象に教育奨励賞を授与している。

その資金獲得の一環である第五回チャリティゴルフ大会が三月八日に木更津ゴルフクラブで開催され、大会終了後に今年度教育奨励賞の授与が行われた。

この教育奨励賞は①優秀な研究・考察②優れた作品の制作③秀抜した記録の樹立④生徒の善行⑤学校生活における顕著な活動の五項目を表彰基準としている。

毎年度、各学校から個人一人、もしくは一団体の推薦を受け教育関係者と慎重に協議して決定する。当初は表彰者を一堂に集めて授与していたが、近年は教育委員会を通

し卒業式に贈られている。今回はゴルフ大会々場の授与式に市教育委員会の鈴木順一・学校課長が出席し、山村憲一会長から手渡された。

この奨励賞は教具等の奨励金も併せて含まれており、教育委員会とはもとより学校、児童・生徒、保護者から「大変、子供たちの励みになる」と感謝の気持ちが多く寄せられている。



第1リジョンが新メンバーを対象にライオンズスクールを開講

一九三の国と地域で組織される世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブの一員である私たちは、日々より一層その資質を高めていかなければならない。

特に日が浅い新メンバーにはライオンズクラブ全般にわたって学習が必要であることは言うまでもない。

ライオンズクラブの教材としてはライオン誌日本語版委員会編集のラ

イオンズクラブ入門として「ライオンズ・スクール初級編、上級編」や「ライオンズ・スピリット」があり解りやすい。

ガバナーの指揮のもとに第1リジョンの運営にあたっている鹿野信一郎RCは、関係者の協力を得て四月三日、浦安ブライトンホテルで第1リジョン内の入会三年未満の会員を対象に合同ライオンズスクールを開

講した。

聴講者は三十六名。内田千尋元地区ガバナーが講師を務め「クラブ運営」と題して約四十分、講演した。

このあとL高木正平、L宇田川正美の両ZCが教材の解説を行い、L石垣榮一（地区長期計画・指導力育成委員長）も加わり質疑応答と意見交換を行ない、一時間半のスクールを終えた。



第7リジョンでは親善を兼ねてチャリティ・ゴルフ大会を開催

L竹林克夫RCが運営の指揮をしている第7リジョンはアクティブな活動で注目を集めているが、四月四日、大栄カントリークラブで事業資金獲得のチャリティ・ゴルフ大会を開催した。

この事業は地域内の全中学校の生徒と小学四年生、六年生の全児童に「子ども人権カレンダー」を新学期に配布するための資金調達で、十万

円以上の協力が得られた。

ゴルフ大会は第7リジョンの親善を兼ねて毎年、恒例として開かれていたもので、今回は十九クラブから百六十八名が参加した。

当日は前日の大風がウソのような穏やかな天候に恵まれ、満開の桜やユキヤナギの下で腕自慢が豪快なショットを競った。

新ペリア方式の十八ホールストロ

ークプレートの結果は、飯岡LC所属のL宮嶋正也がネット七十で優勝した。ベストグロスは高橋定弘小見川LC会長でワンオーバーの七十三。上位入賞者はクラブ例会で多額のドネーションをした事と思われるが、その続報はない。

大会後の親睦パーティーはアルコール摂取に制限があったものの、和やかな交流の内に閉会となった。





各種ボランティア団体を招待して関宿ＬＣが恒例の観桜会開宴

無量寿院（し後藤祐亮住職）の枝垂れ桜は、枝ぶりと背景が見事にマッチして知る人ぞ知る名所だが、関宿ＬＣでは四月九日に今年で十九回目を数える観桜会を、この名所で開いた。

観桜会には日頃、関宿ＬＣの事業に協力している手話サークル・キラの会、ボーイスカウト、老人クラブ、交通安全協会、知的障害者くす

のき苑、身体障害者手をつなぐ親の会、そして遠く中国から酪農の研修に來ている人たち約二百五十名を招待した。

桜吹雪が舞う中、佐藤会長が開会のゴング。竹コップで乾杯して宴の始まり。焼き鳥、焼きそば、モツの煮込み、そば、うどん等、山盛りの料理が配られ、冷えたビールの消費量も急ピッチ。

そんな中、本堂正面の特設舞台では雲龍太鼓が鳴り響き、関宿民謡保存会、小学生のヒョットコ踊り、中国研修生の「北国の春」の合唱や手話コーラス等が披露され、広大な境内を埋めた参会者の大きな拍手と声援を受けた。

皆川ガバナリーのジョークも今回は影が薄くなるほどの盛会で、時間が惜しまれつつお開きとなった。

地域と一体となり街道の桜並木の再現に取り組む君津中央ＬＣ

君津市福岡から鹿野山までの七キロメートルを「鹿野山街道」と称しているが、この街道は約七十年前、天皇陛下の誕生を記念して桜の木が植樹され、鹿野山や神野寺を訪れる観光客や地元の人たちを楽しませ、名所でもあった。

しかし、近年、老木化が目立ち、ほとんど花が付かない状態となっていた。君津中央ＬＣでは環境保全の

一環として五年前から「鹿野山街道の桜並木を再現させよう」を合言葉に、地域と一体となって取り組んでいる。

七キロの街道を地元自治会と三分割し、真ん中の約二キロを受け持った。五年前と三年前の二回、約二百本植樹したが、それが三メートルほどの高さに成長し、今年はチラホラと待望の花を付けた。

現在の主な保育作業は、桜の木の下の雑草刈りと、桜の木に絡みついたクズ、フジの除去作業。絡みつかれると樹勢を失い、やがては枯れ死してしまうため、大事な作業。

四月二十六日も会長を先頭に会員総出で、桜の木の下の草刈り作業を行った。草刈機、鎌などが道具だが、中高年にはかなりの重労働。しかし奉仕の汗は心地良く弱音は出ない。





木更津LC旗争奪の第三十二回市内少年野球大会を強力に後援！

今年で三十二回の伝統を誇る木更津市少年野球大会（中学校の部）が四月二十三日、二十九日の両日にわたって開催された。

この大会は木更津市青少年相談員連絡協議会、市教育委員会が主催しているものだが、木更津LCでは三年前から後援し、結成四十周年には記念事業の一環として紫紺の大優勝旗を贈呈している。

大会には市内の中学校十五チームが参加し、市営球場のほか三方所のグラウンドで熱戦を繰り広げた。

二十九日は市営球場で午前中に準決勝二試合、午後一時半から決勝戦が行われた。

決勝に駒を進めたのは富来田中と金田中。接戦となったが、金田中が2-0で、十年ぶり四回目の優勝を飾った。

木更津LCでは、これまで小学校のミニバスケットと少年野球を後援していたが、同大会関係者の強い要請があつて後援している。

大会には大優勝旗のほか、優勝、準優勝チームに金・銀のメダルを各々二十個、計四十個を贈呈した。大会には補助員として裏方の大会運営に協力しているが、今年は初日が年次大会と重なり会員を振り分けた。

松戸みどりLCは盲導犬育成事業支援にディナーショーを開催

視覚に障害のある方の歩行をサポートする盲導犬は、障害物を避けたり、段差を教えるだけでなく、視覚障害者に前に進む勇氣と希望、自信を与えてくれるという。

一頭の盲導犬は、その誕生から老後の生活まで数百万円が必要とされているが、公的助成が少ないため、多くのボランティアに支えられているのが現状。

盲導犬を必要としている視覚障害者は全国で約七千八百人と言われるが、実働している盲導犬は千頭に満たないと、日本盲導犬協会では支援を呼びかけている。

松戸みどりLCでは、盲導犬育成事業の資金獲得として来る六月十六日に日本閣南柏でチャリティー・ディナーショーを開催する。

一九六〇年代初頭に「コモエスタ

赤坂」でデビューし、次曲「知りすぎたのね」を大ヒットさせたロスイ・ンディオスが出演する。

その後、女性ボーカルが参加し、初めてのデュエット曲「別れても好きな人」も大ヒットするなど数々の賞を受賞している。

懐かしく涙が出そうなヒット曲を聴き、盲導犬育成に力強い支援が寄せられることを期待している。



千葉エコー四十周年、千葉若潮三十周年、市原東十周年を迎えて華やかに結成記念式典

千葉エコーL.C.が結成四十周年を迎え四月三十日に記念例会を挙行了した。認証状伝達式は一九六六年四月二十九日、昭和天皇誕生日の良き日であった。

当時は302E地区で、佐藤三蔵ガバナー（東京関東L.C.）から認証状が伝達された。スポンサークラブは千葉中央L.C.で、千葉L.C.の孫クラブにあたる。

記念例会には、記念事業としての



支援金贈呈先の社会福祉五団体、皆川ガバナーをはじめとする地区役員、遠来の仙台エコーL.C.、大和エコーL.C.、沼田利根L.C.、大韓民国果川L.C.の姉妹クラブ、ブラザークラブから多数が参会し、華やかで盛大な祝賀会となった。

千葉若潮L.C.は一九七六年の認証状伝達式から三十周年を迎え、二月二十五日にオークラ千葉ホテルで特別記念例会を開催した。



千葉県で五十六番目、スポンサークラブは千葉京葉L.C.。千葉L.C.の直系あたる。

特別記念例会には333Dの太田東L.C.から会長以下二十名、冠に千葉が付く5R1Z・2Zの全クラブの同志が出席し、皆川ガバナー、キヤビネット幹事、会計をはじめ5R内の地区役員十四名が列席した。

記念事業として千葉県アイバンク協会をはじめ社会福祉団体五団体に



支援金を贈った。祝宴では民謡グループが独自のアレンジ曲や演出を披露し、祝宴を盛り上げた。

市原東L.C.の結成は一九九五年十二月十七日。千葉県内で百九番目に仲間入りした。認証状の伝達式は翌年の四月六日に行われ、今年で十周年を迎えた。同クラブでは関係者を招いて三月十一日に記念例会を開催した。

スポンサークラブである市原南L.C.をはじめ5R3Zの全クラブからは多くの同志と市原南ライオネスクラブのメンバーが。ブラザークラブの千葉L.C.、千葉中央L.C.、千葉京葉L.C.、千葉ポートL.C.、千葉ゆうきのL.C.からは代表者が出席した。地区役員は皆川ガバナーをはじめ5R内の役員が列席し、同クラブの記念例会を祝した。

また市原市長をはじめ記念事業関係者が参列し華を添えた。

「壇」俳「わ」が「な」み

歡喜

皆川 春安

一つの輪が

いくつも繋がり

大合唱となって

房総の地を

小さな灯りが

大きな祈りに

南の海辺から

北の町角まで

菜の花が一面に咲き

緑滴れば海へと続き

コスモスの道は零れ

冬の海を暖かく包む

房総の友と肩を寄せ合い

しっかりとつないだ一年

みんなが和を合言葉に

すべての思いを明日へ

一丸となって

いま、歡喜の声が



後	編
記	集



最大九日間という今年の大連休であったが、警察庁は四月二十九日から五月七日までのゴールデンウィーク中の交通事故の発生状況を発表した。

それによると期間中の交通事故による死者は百四十二人。百四十二人

が亡くなっているのである！行楽地で多くの人たちが連休を楽しんでいるその一方で、百四十二人の家族が悲哀にくれているのである。

毎日、交通事故による死者が絶える日はないが、その状況に国民のほとんどは感覚がマヒし、特異な事故でないと関心を示さない。

連休後半の五月六日、飲酒運転の乗用車が地下鉄「表参道駅」の出口から突っ込み階段を爆走した。幸い



死者は無かったが、映画のアクション・シーンそのものである。

また警察庁は期間中に行楽客が当事者となった交通事故も発表しているが、三十一件で死者は三十七人。

都道府県別では福岡県が十二人で最も多かったが二番目は千葉県の九人である。

*

財務省が発表した国の借金（債務残高）は昨年十二月末で八百兆円を突破し八百十三兆一千八百三十億円に達したという。

生まれたばかりの赤ちゃんも含めて国民一人当たり約六百三十七万円の借金を抱えている計算になる。

自分の借金は良く解るが、国の借金となると、それがどーしたという感じで国民生活とどう運動するのかピンと来ない。

一千兆円を超えるのも時間の問題と言われているが、ドンドン増え続けていくところを見ると、政治家も役人も自分の懐は心配ない、という感覚らしい。

膨大な借金を抱えているのに日本は毎年、一兆円を超えるODA（政府開発援助）を行っている。発展途上国に対する国際貢献の、つであ

るから止むを得ない面もある。

しかし近年、急激な経済発展を遂げ、軍備の近代化を図り、アメリカでさえ「軍事的脅威」であると指摘している中国に、日本は相変わらず開発援助をしているのである。

今まで中国に対して提供した資金協力は有償が三兆四百七十二億円、無償が一千四百十六億円、技術協力一千四百四十六億円の巨額に上る。

その中国が日本に無理難題を突き付け、国民に反日感情を煽っているのはご承知の通り。日本政府も寛大である。

昭和の初め、インフレ、失業、農村大不況の日本が「満州国」を造った。どこにそんなカネがあったのか不思議であったが、酷似している。

「みんなが和」

二〇〇六年六月一日発行

発行人 皆川 春安

編集人 田口 恵一

発行所 ライオンズクラブ

国際協会333C地区

キャビネット

千葉市中央区問屋町一―五五

シーオービル6F

電話 043(243)2528

ライオンズ ウィ・サーブ

Lions We · Serve

作詞・作曲 高城 靖雄

編曲 笹岡 豊彦

世界の国から やってきた
奉仕の心で 手を取り合おう
ウィ・サーブ ウィ・サーブ
平和と 限りない自由
オー 飛び立て未来へ

ライオンズ ライオンズ
ウォーオ ライオンズ
知性を高めて
今 届け地上の星へと
地上の星へと

隣の町から やってきた
笑顔で みんなが やってきた
ウィ・サーブ ウィ・サーブ
友愛 理解深める
オー 煌めく 未来へ

ライオンズ ライオンズ
ウォーオ ライオンズ

絆 友情
今 届け地上の星へと
地上の星へと

(くり返し)

地上の星へと・地上の星へと

“ライオンズ・ウィ・サーブ”

1. We came from all over the world
We offer our apirits hold together
We serve We serve
Peace and endless freedom
or fly to our future

※ Lions Lions Oh Lions
Improve our intelligence
Now let's reach
The shining bright stars

2. We came from the neighbor town
We came with our smiling face
smiling face
We serve We serve
Our relationship and
deep understanding
Oh let's go to the bright future

Lions Lions Oh Lions
Tight up our friendship
Now let's reach
The shining bright stars
shining bright stars

※ (Repeat)
Shining bright stars
Shining bright stars

“Lions We serve”





河川失明症＝ブユが人を刺して幼虫を人体に入り込ませ、それにより強烈なかゆみ、皮膚の変色を引き起こし、重症の場合は失明に至る。アフリカでは27万人が失明

世界が待っています

2020年までにトラコーマと河川失明症を地球上からなくすために

1990年当時、世界の盲人の数は2005年までに5,200万人に上ると推定されていました。

が、この年に始まった視力ファーストによって、現在は3,700万人に抑えられています。

視力ファーストが今、中止になると、2020年の盲人の数は7,000万人に増加すると言われています。

視力ファーストIIは、途上国で猛威をふるうトラコーマと河川失明症を2020年までに地球上からなくし、小児期の失明を防止するために、更なる挑戦を続けます。

